

2023年度
数理・データサイエンス・AI教育プログラム
(リテラシーレベル)
自己点検・評価報告書

2024年5月8日 (水)

獨協医科大学 情報基盤センター

プログラムを構成する授業の概要

学 部	医 学 部	看 護 学 部	
科 目 名	医学情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー演習
開 講 状 況	1年次・必修・1単位	1年次+3年次編入生・必修・各1単位	
担 当	坂東宏和、山下真幸（情報基盤センター）		
概 要	<p>医療分野を含む様々な分野でより高度な情報技術の活用が進むと予想される時代において医師を志す皆さんには、従来からのICT活用リテラシーに加えて、新たな情報技術に柔軟に対応し、それらを日々の生活や学業、医療人としての活動において当たり前のように活用できる素養を身につけていることが求められる。そこで、従来からのICT活用リテラシーに加えて、情報化時代における「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎的な力をバランスよく学修する。</p>	<p>高度情報化社会において、情報を処理し活用する基礎的能力を高めるために、適切な情報の検索、入手、情報手段を自主的に選択し活用していくための基本的な知識について学修する。</p>	<p>情報リテラシーで学んだ知識を活用し、情報社会で必要不可欠とされる情報機器の操作法、情報および情報手段を自主的に選択し活用していくための基礎的な技術を修得する。コンピュータに慣れ親しみ、コンピュータを用いて簡単なテキスト、表、グラフ、画像を作成する技術および基本的な統計処理技術を修得する。</p>

履修・成績の状況

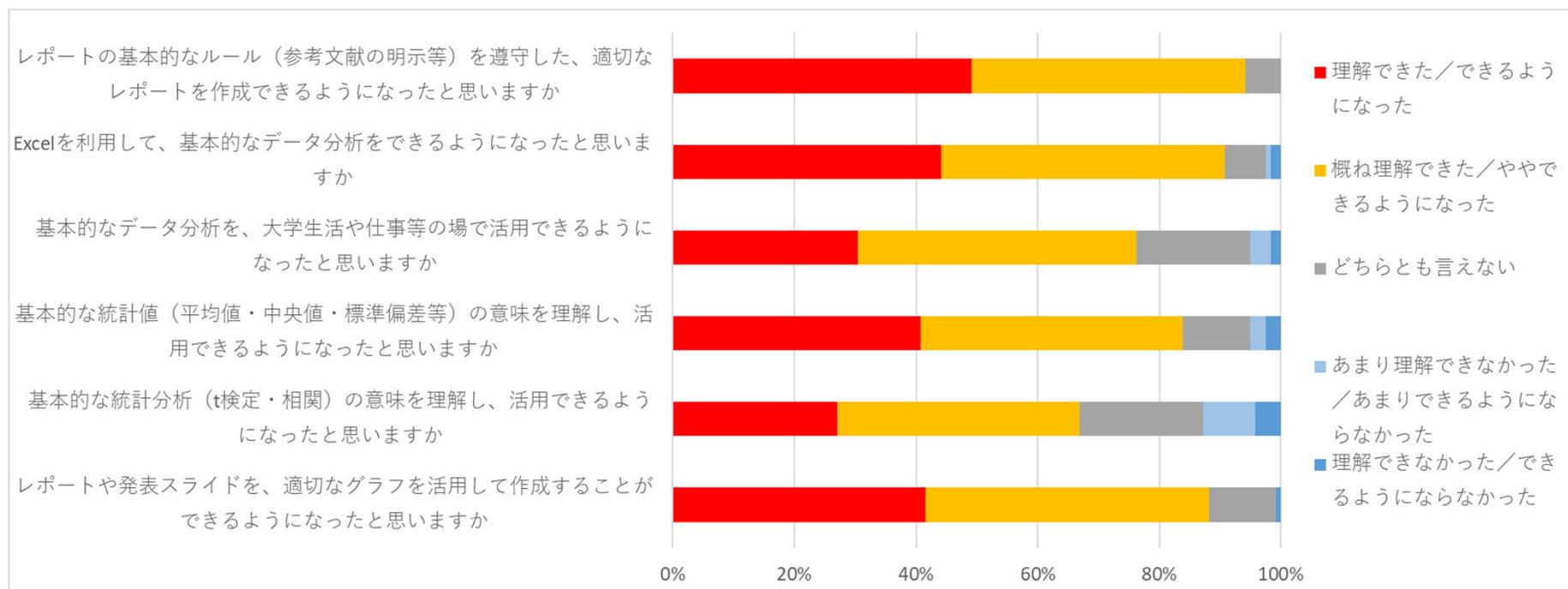
学 部	医 学 部	看 護 学 部	
科 目 名	医学情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー演習
開 講 状 況	1年次・必修・1単位	1年次+3年次編入生・必修・各1単位	
履修者数（率）	126人（100.0%）	105人（100.0%）	104人（100.0%）
修了者数（率）	125人（99.2%）	104人（99.0%）	104人（100.0%）
プログラム全体の履修者数（率）	126人（100.0%）	106人（100.0%） （※2人は過年度に片方の科目を修了済）	
プログラム全体の修了者数（率）	125人（99.2%）	105人（99.1%）	

- ・医学部／看護学部どちらも全て必修科目で構成されているため履修率は100%であったが、定期試験や課題等により判定を行った結果、医学部1名・看護学部1名が未修となった
- ・全て必修科目で構成されているため、未修となった学生は、卒業までに再履修することになる
- ・修了率が100%となるよう、引き続き授業内容・実施手法等の改善を図っていく計画である

学生による授業評価

【医学情報リテラシー 授業アンケート（1）】

授業評価アンケート(全授業終了時) 118人/126人 回答率93.7%

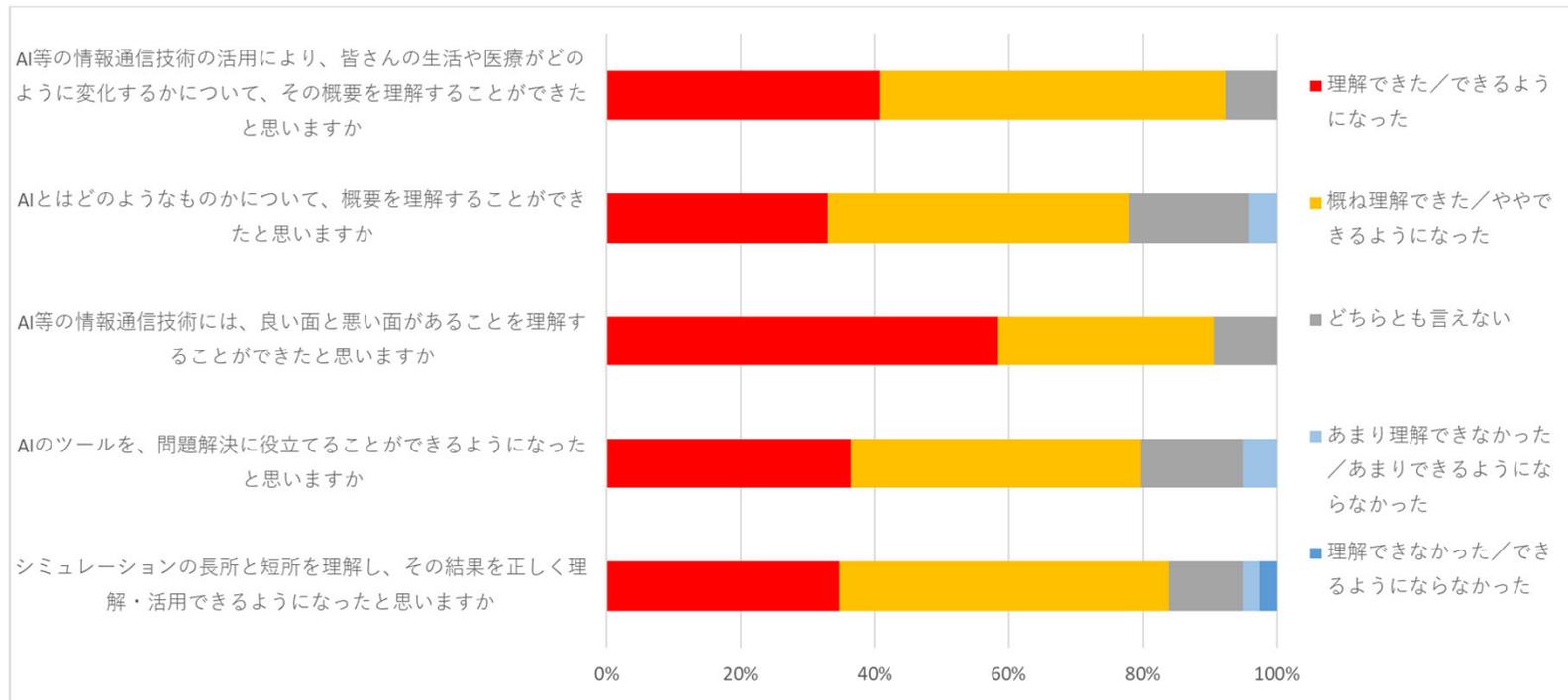


- レポートの基本的なルール、基本的なデータ分析の方法、基本的な統計値の意味、適切なグラフの活用については、概ね理解できたようである。一方で、20%以上の学生が、基本的なデータ分析を大学生生活等に、十分に活かすことができないと感じているようである
- 基本的な統計分析の意味を理解し、活用できるかについては、30%以上の学生が十分に活用できないと考えているようである。説明用の授業スライドを見直す等、引き続き授業改善を進めたい

学生による授業評価

【医学情報リテラシー 授業アンケート（2）】

授業評価アンケート(全授業終了時) 118人/126人 回答率93.7%

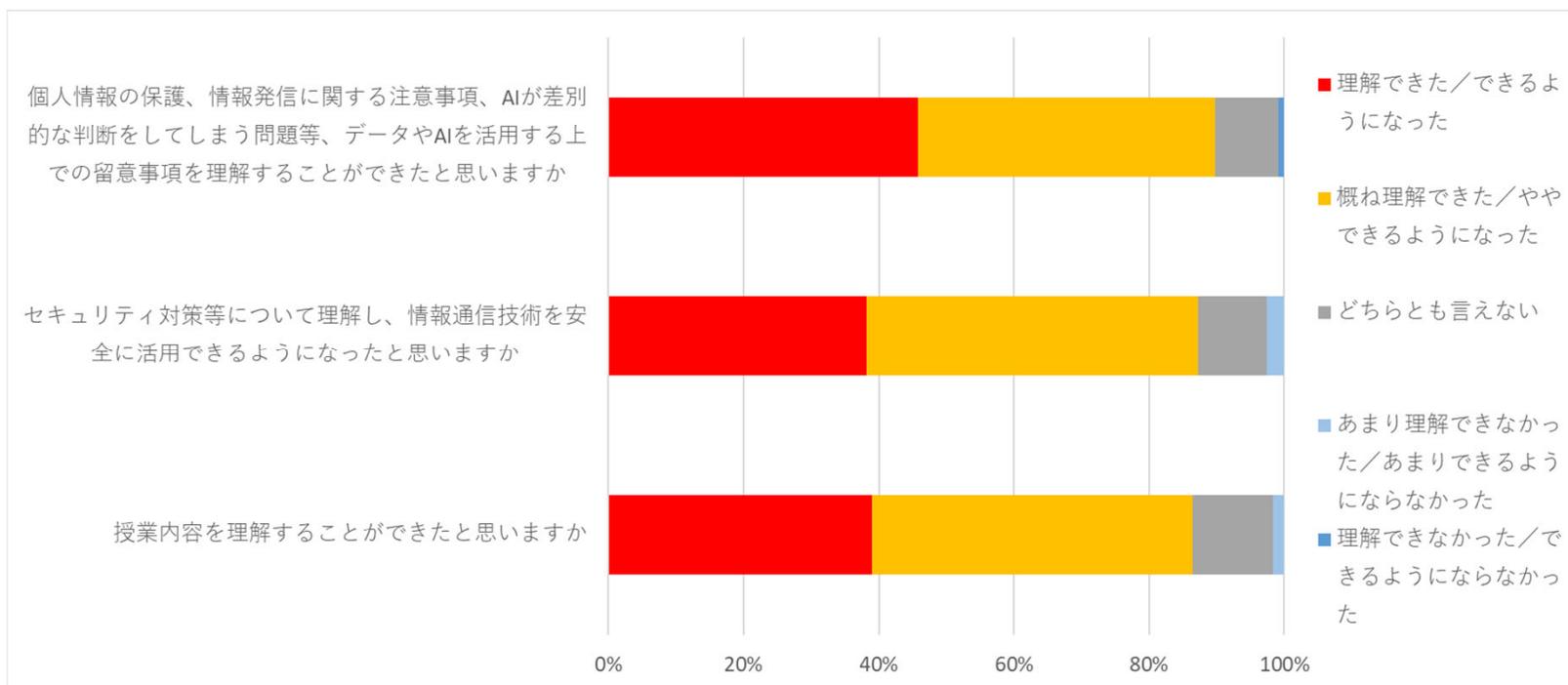


- AI等の活用による生活や医療の変化、情報通信技術には良い面と悪い面があること、シミュレーション結果の理解と活用については、概ね理解できたようである
- AIの概要、問題解決におけるAIツールの活用については、20%以上が十分に理解できていない状況である。こちらについても説明用の授業スライドを見直す等、引き続き授業改善を進めたい

学生による授業評価

【医学情報リテラシー 授業アンケート（3）】

授業評価アンケート(全授業終了時) 118人/126人 回答率93.7%

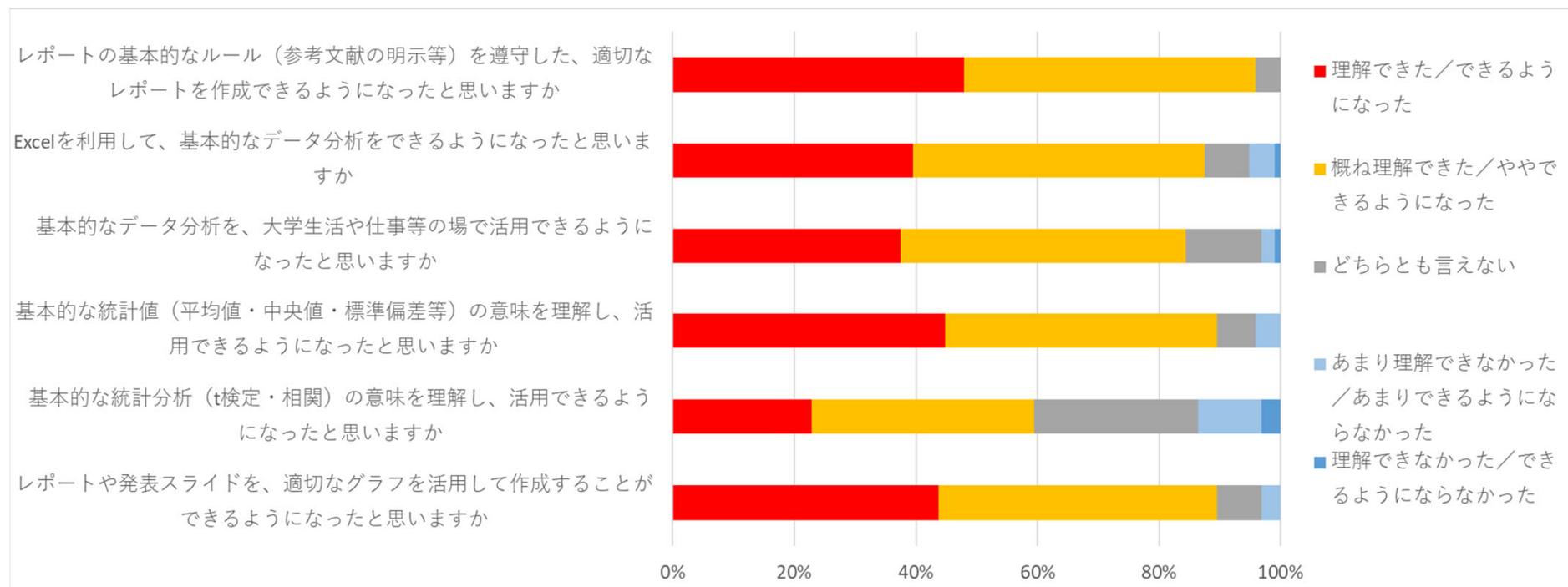


- データやAIを活用する上での留意事項、情報通信技術の安全な活用については、概ね理解/活用できるようになったようである
- 授業内容全体については、80%以上の学生が理解できた/概ね理解できたと回答していることから、大部分の学生にとって理解しやすい授業内容であり、全体として大きな問題は無かったと考える

学生による授業評価

【情報リテラシー・情報リテラシー演習 授業アンケート（1）】

授業評価アンケート(情報リテラシー・情報リテラシー演習終了時) 96人/106人 回答率90.6%

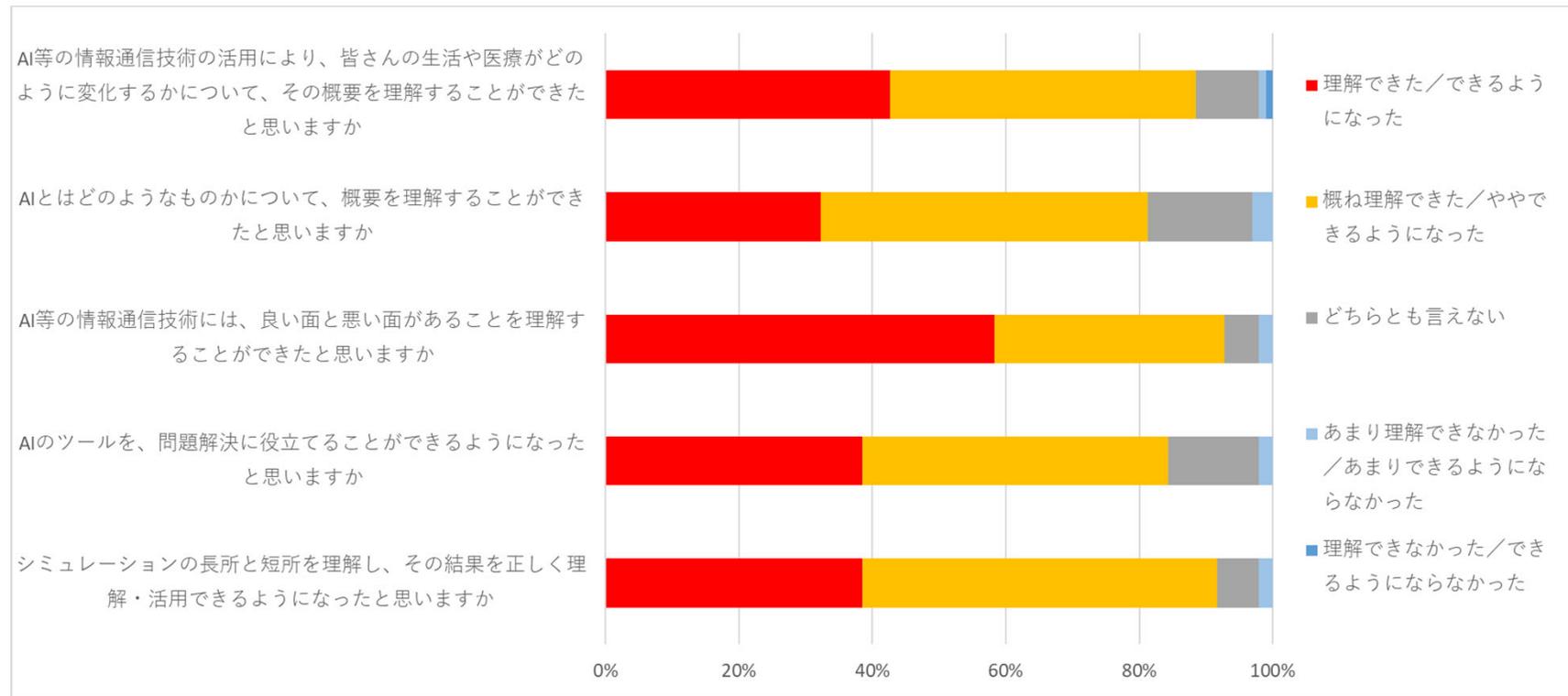


- レポートの基本的なルール、基本的なデータ分析とその活用、基本的な統計値の意味、適切なグラフの活用については、80%以上の学生が理解できた（できるようになった）／概ね理解できた（ややできるようになった）と回答していることから、大部分の学生にとって理解しやすい授業であったと考える
- 基本的な統計分析の意味を理解し、活用できるかについては、40%以上の学生が十分に活用できないと考えているようである。説明用の授業スライドを追加・修正する等の改善を実施したい

学生による授業評価

【情報リテラシー・情報リテラシー演習 授業アンケート（2）】

授業評価アンケート(情報リテラシー・情報リテラシー演習終了時) 96人/106人 回答率90.6%

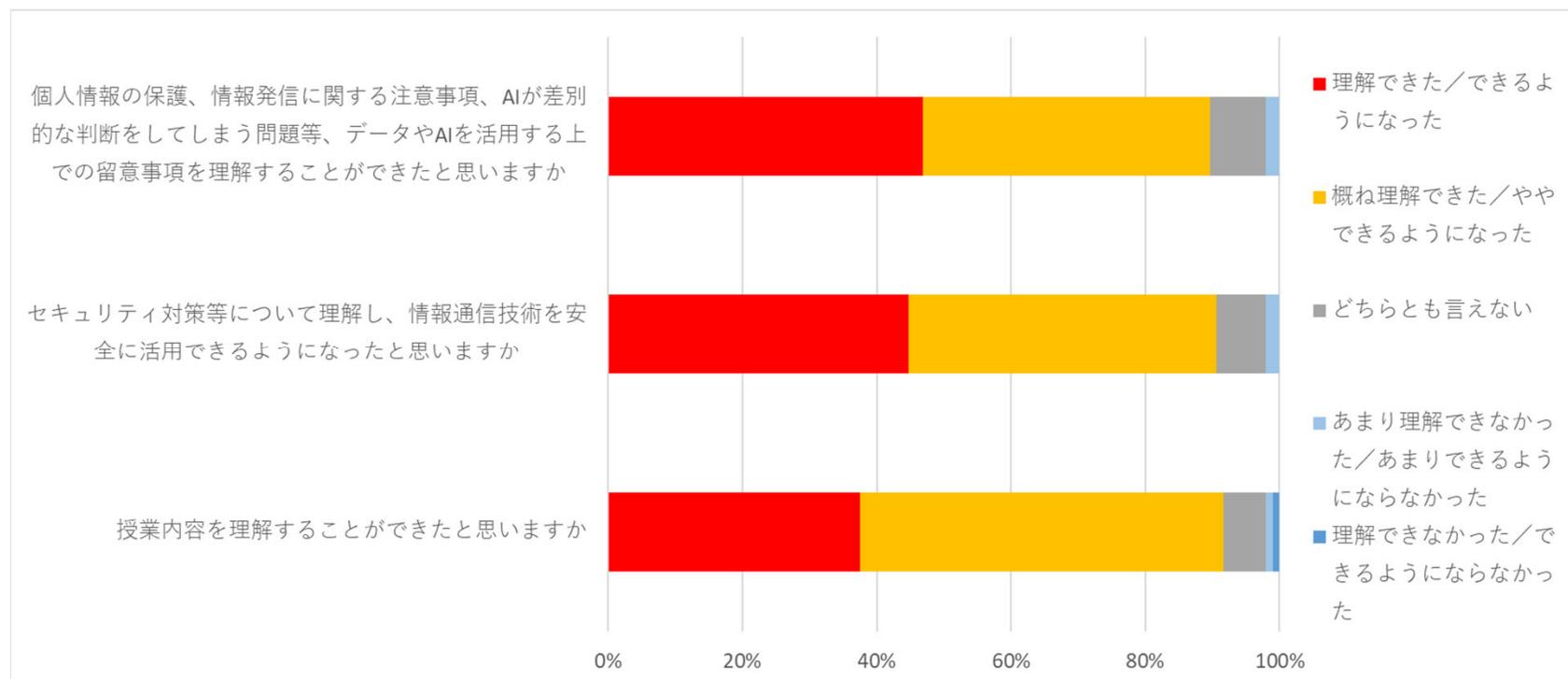


- AI等の活用による生活や医療の変化、AIの概要、情報通信技術には良い面と悪い面があること、AIツールの活用、シミュレーション結果の理解と活用については、概ね理解できたようである

学生による授業評価

【情報リテラシー・情報リテラシー演習 授業アンケート（3）】

授業評価アンケート(情報リテラシー・情報リテラシー演習終了時) 96人/106人 回答率90.6%



- データやAIを活用する上での留意事項、情報通信技術の安全な活用については、概ね理解/活用できるようになったようである
- 授業内容全体については、90%以上の学生が理解できた/概ね理解できたと回答していることから、大部分の学生にとって理解しやすい授業内容であり、全体として大きな問題は無かったと考える

評価のまとめ

- 単位修得率とプログラム全体の修了率が99%以上であること、および、80%以上の学生が授業内容全体について理解できた／概ね理解できたと回答していることから、授業の内容や進め方に大きな問題は無かったと考えている
- 項目別の評価においては「基本的な統計分析の意味を理解し、活用できる」の評価が特に悪い状況である。基本的な統計分析に関する部分を中心に、全体的な教材（スライド等）の見直しを行う等、改善が必要であると認識している
- 今後も引き続き授業内容の見直しと教材の改善を行い、より学生の理解度が高められるよう努力したい